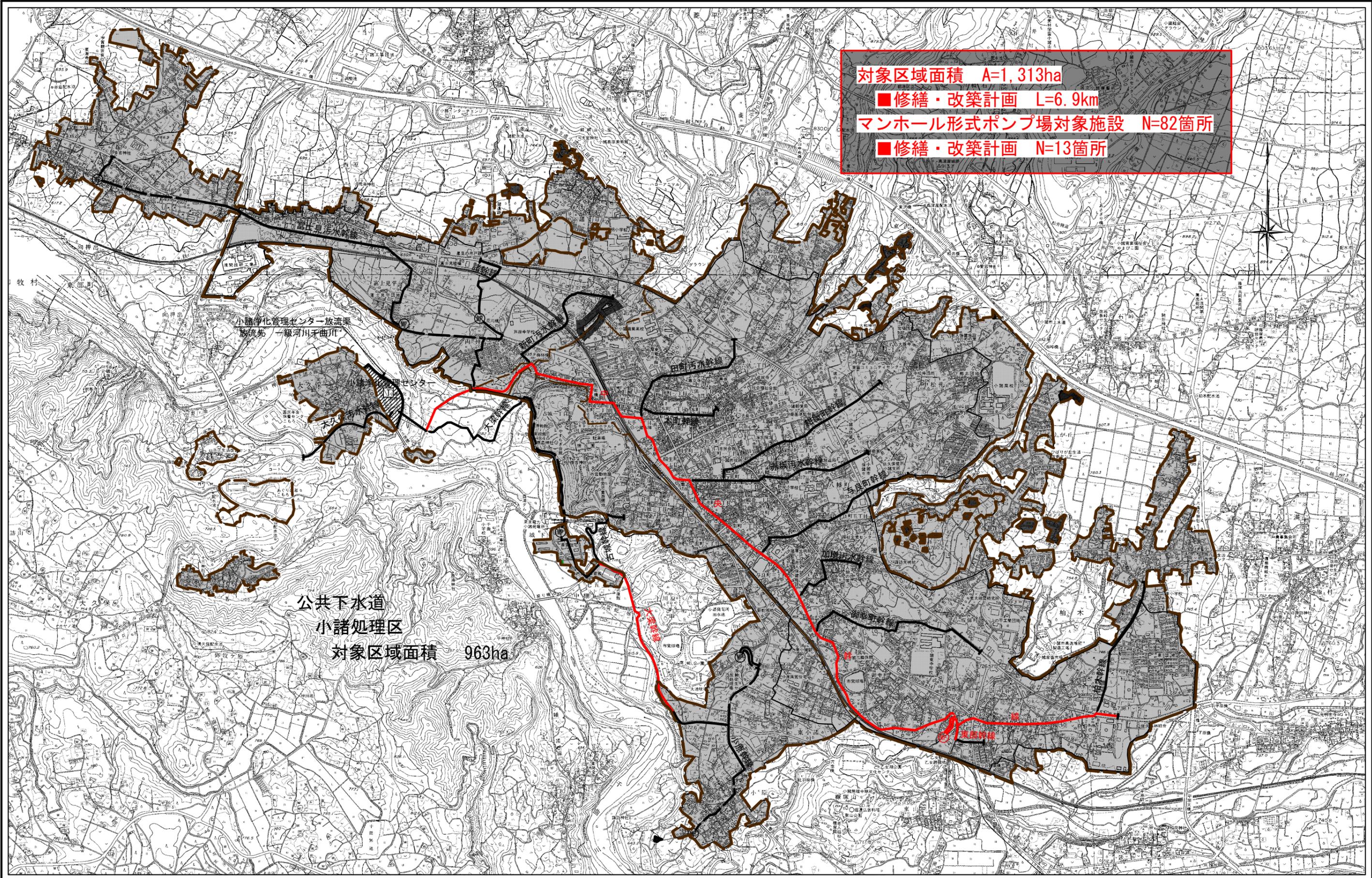


対象区域面積 A=1,313ha
■修繕・改築計画 L=6.9km
マンホール形式ポンプ場対象施設 N=82箇所
■修繕・改築計画 N=13箇所



公共下水道
小諸処理区
対象区域面積 963ha

小諸浄化センター放流渠
放流先 一級河川千曲川

令和7年度 防災・安全交付金 公共下水道事業 管路施設等 ストックマネジメント修繕・改築計画改定業務委託

仕様書

本業務は、令和2年度に策定した管路施設及びマンホールポンプ場施設に係るストックマネジメント修繕・改築計画の改定を行うことを目的とする。

1章 管路施設編

~~1 施設情報の収集・整理~~

~~管路施設のリスク評価、施設管理目標の設定、長期的な改築事業シナリオの設定及び点検・調査計画の検討に必要な施設情報の収集・整理等を行う。~~

~~収集すべき資料は次のとおりとする。~~

~~(1) 施設情報収集・整理~~

~~(イ) 上位計画に関する情報の収集・整理~~

~~① 各種長期計画、下水道ビジョン等の収集・整理~~

~~(ロ) 関連計画に関する情報の収集・整理~~

~~① 下水道計画（全体計画、事業計画）~~

~~② 災害対策計画（地震対策計画、浸水対策計画）~~

~~③ 地球温暖化対策計画等~~

~~(ハ) 諸元に関する情報の収集・整理~~

~~① 名称~~

~~② 設置年度及び設置価格~~

~~③ 所在地~~

~~④ 材質、形状寸法（管径）、能力、延長、主被り~~

~~⑤ 管路施設の重要度等~~

~~(ニ) リスクの検討に関する情報の収集・整理~~

~~① 点検・調査結果~~

~~② 地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度~~

~~③ 施設の周辺環境条件等~~

~~(ホ) 点検・調査に関する情報の収集・整理~~

~~① 図面~~

~~② 施設状態（劣化の程度）~~

~~③ 維持管理履歴（修繕記録、事故・故障記録、診断記録、清掃記録、管路施設内水位情報）等~~

~~(ヘ) 修繕・改築に関する情報の収集・整理~~

~~① 経過年数~~

~~② 標準耐用年数~~

~~③ 改築費用（または改築単価）~~

~~④ 緊急度、健全度等~~

~~⑤ 運転及び水質記録等~~

~~(2) 現地踏査~~

~~既存の施設情報収集で得られた情報に基づき、特に地域特性、土地利用等の現地の状況確認が必要な箇所を対象として現地踏査により確認を行う。~~

~~2 リスクの評価~~

~~点検・調査及び修繕・改築の優先順位等を設定するため、リスクを特定し、施設の重要度に基づく被害規模（影響度）及び発生確率（不具合の起こりやすさ）を検討する。リスクの評価では、以下の事項について検討する。~~

~~(1) リスクの特定~~

~~下水道事業者側に起因するリスクと起因しないリスクを抽出し、管路施設の点検・調査あるいは修繕・改築で対応するリスクを特定する。~~

~~(2) 被害規模の検討~~

~~管路施設において損傷や劣化による事故の被害の大きさを影響度とし、その評価方法を設定した上で被害規模を検討する。~~

~~(3) 発生確率の検討~~

~~管路施設における損傷や劣化による事故の発生確率は、施設情報の蓄積状況等を踏まえて評価方法を設定した上で検討する。~~

~~(4) リスクの評価~~

~~点検・調査及び修繕・改築計画の優先順位付けに必要なリスクの評価方法を検討する。選定したリスク評価方法を用いて、被害規模の検討と発生確率の検討結果に基づきリスクを評価する。~~

~~3 施設管理の目標設定~~

~~管路施設の点検・調査及び修繕・改築に関する目標として、長期的な視点に立って目指すべき方向性及びその効果の目標値（アウトカム）とアウトカムを実現するための具体的な事業量の目標値（アウトプット）を設定する。~~

~~4 長期的な改築事業シナリオの設定~~

~~改築に関する複数のシナリオの中から費用、リスク、執行体制を総合的に勘案し、最適な改築シナリオを設定する。~~

~~(1) 管理方法の選定~~

~~管きょ、マンホールふた、マンホール、取付管・ます等の対象とする施設ごとに、小諸市の特性に応じて管理方法を設定する。~~

~~(2) 改築条件の設定~~

~~最適な改築シナリオを選定するために、各施設の管理方法を考慮したうえで、目標耐用年数による改築時期や改築に必要な費用を設定する。~~

~~(3) 最適な改築シナリオの選定~~

~~リスク評価、施設管理の目標設定を踏まえ、複数のシナリオを設定する。費用、リスク、執行体制を総合的に勘案し、小諸市の実情に応じて事業費の平準化を考慮した最適な改築シナリオを選定する。~~

~~(4) 長期的な改築事業シナリオのとりまとめ~~

~~(1)～(3)の検討結果を50～100年程度の長期的な改築事業シナリオとして、修繕・改築対策施設、実施時期及び概算費用を取りまとめる。~~

~~5 点検・調査計画の策定~~

~~長期的な視点から点検・調査の頻度、優先順位、単位、項目について、一般環境下と腐食環境下に大別して検討する。~~

~~また、実施計画では、ウォーターPPPの事業計画期間を勘案し、概ね10年程度において、どの施設を、いつ、どのように、どの程度の費用をかけて、点検・調査を行うかを一般環境下と腐食環境下に大別して検討する。~~

~~(1) 環境区分の設定~~

~~管きよ、マンホールふた、マンホール、取付管・ます等の対象とする施設ごとに、腐食劣化の実態や、これまでの点検・調査において把握した腐食環境等を踏まえて、一般環境下と腐食環境下の区分設定を行う。~~

~~ただし、マンホールふた、取付管・ます等は一般環境下の扱いとする。~~

~~(2) 点検・調査頻度の検討~~

~~(一般環境下)~~

~~過去の点検・調査結果や施設の重要度に応じた調査頻度を設定するとともに、調査頻度を踏まえて点検頻度を設定する。~~

~~(腐食環境下)~~

~~腐食環境条件等を踏まえて、点検の実施頻度を設定する。また、点検結果と施設の重要度に基づき調査の実施頻度を設定する。~~

~~(3) 優先順位の設定~~

~~(一般環境下)~~

~~リスク評価結果に基づいて、優先順位を設定する。~~

~~(腐食環境下)~~

~~点検・調査の結果から把握した腐食状況や、修繕・改築の実施により蓄積された情報を踏まえ、優先順位を設定する。~~

~~(4) 点検・調査における単位・項目の検討~~

~~(一般環境下)~~

~~清掃及び調査の必要性判断のための点検項目の検討、劣化診断及び健全度の評価に必要な調査項目の検討を行う。~~

~~また、管路施設の異常の程度の評価基準及び緊急度・健全度の判定基準を検討する。~~

~~(腐食環境下)~~

~~一般環境下の考え方に準じる。~~

~~(5) 点検・調査対象施設・実施時期の設定~~

~~(一般環境下)~~

~~優先順位の検討結果及び事業期間を勘案して、点検・調査対象施設及び実施時期を設定する。~~

~~また、長期的な視点に立ち、全ての管路施設に対して、いつどの施設を点検・調査すべきか整理する。~~

~~(腐食環境下)~~

~~一般環境下の考え方に準じる。~~

~~(6) 点検・調査の方法の検討~~

~~(一般環境下)~~

~~施設の諸元、特性やリスクの評価結果を踏まえて点検・調査方法の検討及び清掃・点検・調査の合理的組合せを検討する。~~

~~(腐食環境下)~~

~~一般環境下の考え方に準じる。~~

~~(7) 概算費用の算定~~

~~（一般環境下）~~

~~「点検・調査対象施設・実施時期」及び「点検・調査の方法」の検討結果を踏まえ、ウォーターPPPの事業計画期間を勘案し、概ね10年程度の概算費用を算出する。~~

~~（腐食環境下）~~

~~一般環境下の考え方に準じる。~~

~~（8）点検・調査計画のとりまとめ~~

~~（1）～（7）の検討結果を点検・調査計画として取りまとめる。~~

6 修繕・改築計画の策定

調査・診断結果に基づき、長期的な改築事業のシナリオ設定を踏まえ、事業計画期間を勘案し、概ね5～7年程度における改築の優先順位を設定する。

また、実施計画では、ウォーターPPPの事業計画期間を勘案し、概ね10年程度において、どの施設を、いつ、どのように、どの程度の費用をかけて、修繕・改築を行うかを検討する。

（1）診断

診断は管路施設の異常の程度を評価し、対策要否及び緊急度を明らかにするもので、潜行目視調査、マンホール目視調査又はTVカメラ調査等の結果から、以下の手順で実施する。

（イ）異常の程度の評価

異常の程度の評価基準に基づき、異常の程度を評価する。

（ロ）緊急度・健全度の判定

異常の程度の評価結果を整理し、対策の緊急度・健全度の判定及び対策の要否（維持又は対策）の判定を行う。

（2）対策の必要性検討

診断により判定された健全度・緊急度と、長期的な改築事業のシナリオを踏まえ、対策の必要性を検討する。

（3）修繕・改築の優先順位の検討

従来の施設整備事業や地震・津波対策及び浸水対策事業などの機能向上に関する他計画を考慮し、リスク評価結果を踏まえて修繕・改築の優先順位を検討する。

（4）対策範囲の検討

優先順位を踏まえた修繕・改築対策が必要と位置つけたスパンについて、修繕か改築かを判定する。管きょ以外に検討対象とした施設（マンホール、取付管・ます、マンホールふた）で対策が必要と判定されたものについては、劣化状況に応じて、修繕か改築かを判断する。

（5）長寿命化対策検討対象施設の選定

長寿命化対策の検討対象とする施設を選定し、現場状況、劣化状況に応じた長寿命化対策工法の有無の確認を行い、長寿命化対策を検討する必要性を確認する。

（6）改築方法の検討

改築と判定した管路施設を整理し、更新（布設替え工法）か長寿命化対策（更生工法）かを選定する。

また、ライフサイクルコストを算定し、長寿命化対策の実施効果を検証する。

（7）実施時期の設定及び概算費用の算出

長寿命化対象施設及び長寿命化計画対象区域内の更新や修繕に必要な事業量の算出と概ね5～7年程度の実施時期を設定する。

また、事業計画期間内に改築する管路施設の対象延長及び施工方法を整理し、年度別事業量、年度割概算事業費を算出する。

なお、ウォーターPPPの事業計画期間を勘案し、5年の改築実施時期に収まらない対象施設がある場合には、概ね10年程度までの対象施設、実施時期、概算費用を整理する。

(8) 修繕・改築計画のとりまとめ

(1)～(7)の検討結果及び他事業との整合を勘案した修繕・改築計画としてとりまとめる。

7 報告書作成

報告書作成では、管路施設ストックマネジメント実施方針に係るとりまとめ及びその概要書を作成するものとし、施設情報収集整理の内容、リスク評価の概要、施設管理の目標設定、長期的改築事業シナリオ設定の概要、点検・調査計画の概要、その他必要資料等を集成するものとする。

2章 マンホールポンプ場施設編

1 施設情報の収集・整理

~~マンホールポンプ場施設におけるリスク評価、施設管理目標の設定、長期的な改築事業シナリオの設定及び点検・調査計画の策定に必要な施設情報の収集・整理を行う。収集すべき資料は次のとおりを基本とする。~~

~~(1) 施設情報収集・整理~~

~~(イ) 上位計画に関する情報の収集・整理~~

~~① 各種長期計画、下水道ビジョン等の収集・整理~~

~~(ロ) 関連計画に関する情報の収集・整理~~

~~① 下水道計画（全体計画、事業計画）~~

~~② 災害対策計画（地震対策計画、浸水対策計画）~~

~~③ 地球温暖化対策計画等~~

~~(ハ) 諸元に関する情報の収集・整理~~

~~① 名称~~

~~② 設置年度及び設置価格~~

~~③ 所在地~~

~~④ 形状寸法、形式、能力、容量、仕様等~~

~~(ニ) リスクの検討に関する情報の収集・整理~~

~~① 点検・調査結果~~

~~② 地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度~~

~~③ 施設の周辺環境条件等~~

~~(ホ) 点検・調査に関する情報の収集・整理~~

~~① 設計図書、竣工図書~~

~~② 施設状態（劣化の程度）~~

~~③ 維持管理履歴（修繕記録、事故・故障記録、診断記録）等~~

~~(ヘ) 改築・修繕に関する情報の収集・整理~~

~~① 経過年数~~

~~② 標準耐用年数~~

~~③ 改築費用（または改築単価）~~

~~④ 緊急度、健全度等~~

~~⑤ 運転及び水質記録等~~

~~(2) 施設情報の作成~~

~~施設情報（施設台帳）が作成されていない場合は、収集した施設情報を基に、新たに小分類単位を基にした施設情報（施設台帳）を作成する。（データベースの構築は含んでいない）施設情報（施設台帳）の内容は、構造、形状寸法、形式、台数、取得価格、設置年度、改築年度、その他の施設情報とし、電子データ化を行う。~~

~~2 リスクの評価~~

~~ストックマネジメントを効率的・効果的に実践するために、リスク評価による優先順位等を検討し、点検・調査計画及び修繕・改築の策定につなげる。リスク評価では、以下の事項について検討する。~~

~~(1) リスクの特定~~

~~下水道事業者側に起因するリスクと起因しないリスクを抽出し、施設の点検・調査あるいは改築・修繕で対応するリスクを特定する。~~

~~(2) 被害規模の検討~~

~~ポンプ場施設において事故・故障が発生しときの被害の大きさを影響度とし、その評価方法を設定して被害規模を検討する。（機能面、能力面、コスト面の総合評価を想定している）~~

~~(3) 発生確率の検討~~

~~ポンプ場施設における事故・故障の発生確率について、過年度の改築実績、既存設備の使用年数を整理し、目標耐用年数を設定し、整理する。~~

~~(4) リスクの評価~~

~~点検・調査及び改築・修繕計画の優先順位付けに必要なリスクの評価方法を検討する。選定したリスク評価方法を用いて、被害規模の検討と発生確率の検討結果に基づきリスクを評価する。なお、被害規模は、過年度の算出した値を流用すること。~~

~~3 施設管理の目標設定~~

~~ポンプ場施設の点検・調査及び修繕・改築に関する目標として、長期的な視点に立って目指すべき方向性及びその効果の目標値（アウトカム）とアウトカムを実現するための具体的な事業量の目標値（アウトプット）を設定する。~~

~~施設管理に関する目標としては、長期的な視点に立って目指すべき方向性及びその効果の目標値（アウトカム）を設定する。~~

~~4 長期的な改築事業シナリオの設定~~

~~改築に関する複数のシナリオの中から費用、リスク、執行体制を総合的に勘案し、最適な改築シナリオを設定する。~~

~~(1) 管理方法の選定~~

~~ポンプ場等の能力・系列数、設備台帳、設備の役割、状況等を勘案し、小諸市の特性に応じて管理方法を設定する。~~

~~(2) 改築条件の見直し~~

~~最適な改築シナリオを選定するために、各設備の管理方法を考慮したうえで、目標耐用年数による改築時期や改築費用を設定する。~~

~~(3) 最適な改築シナリオの見直し~~

~~リスク評価、施設管理の目標設定を踏まえ、小諸市の実情に応じて事業費の平準化を考慮した最適な改築シナリオを選定する。~~

~~(4) 長期的な改築事業シナリオのとりまとめ~~

~~(1)～(4)の検討結果を実施方針で選定した最適な改築シナリオの時点修正を行い、取りまとめる。~~

~~5 点検・調査計画の策定~~

~~基本方針では、長期的な視点から頻度、優先順位、単位、項目について検討する。~~

~~実施計画では、事業計画期間を勘案し、概ね5～7年程度において、どの施設を、いつ、どのように、どの程度の費用をかけて、点検・調査を行うかを検討する。~~

~~(1) (基本方針) 点検・調査の単位・項目の見直し~~

~~点検・調査の単位・項目を見直し、設定する。~~

~~(2) (基本方針) 点検・調査頻度の見直し~~

~~点検頻度は、過去の点検項目・内容に準じた周期、過去の管理記録やリスク評価等を参考に設定する。~~

~~調査頻度は、定期的、リスク評価に基づく優先順位等より設定する。~~

~~(3) (基本方針) 優先順位の設定~~

~~リスク評価結果に基づいて、優先順位を設定する。~~

~~(4) (実施計画) 対象施設・実施時期の見直し~~

~~点検時期は、設備の特性や執行体制を踏まえて設定する。~~

~~調査時期は、予防保全による対策が検討できる時期とし、リスク評価に応じて、調査時期、頻度を決定して、効率的・効果的に実施する。~~

~~(5) (実施計画) 点検・調査の方法の見直し~~

~~点検・調査方法は、点検・調査体制や各設備の調査単位及び構造等を考慮して選定する。~~

~~(6) (実施計画) 概算費用の見直し~~

~~「対象施設・実施時期」及び「点検・調査の方法」の検討結果を踏まえ、事業計画期間を勘案し、概ね5～7年程度の概算費用を算出する。~~

~~(7) 点検・調査計画のとりまとめ~~

~~(1)～(6)の検討結果を点検・調査計画として取りまとめる。~~

6 修繕・改築計画の策定

基本方針では、点検・調査結果に基づき施設の劣化状況を把握し、長期的な改築事業のシナリオ設定を踏まえ、事業計画期間を勘案し、概ね5～7年程度における改築の優先順位を設定する。

実施計画では、どの施設を、いつ、どのように、どの程度の費用をかけて、修繕・改築を行うかを検討する。

(1) (基本方針) 診断・対策の必要性の検討

健全度の評価のため、判断基準を設定し、現在の健全度を評価する。また、診断結果及び点検結果に基づき、対策の必要性を検討する。

(2) (基本方針) 優先順位の検討

機能向上に関する事業など関連計画を考慮して、修繕・改築に関する優先順位を検討する。

また、処理場・ポンプ場設備の優先順位の設定あたり、設備群としてまとまった修繕・改築を実施した方が効率的な場合には、設備群単位で優先順位を調整する。

(3) (実施計画) 対策範囲の検討

基本方針で、対策が必要と位置つけた設備について、修繕か改築かを判定する。

なお、修繕か改築かの判定結果に加え、設備の重要度や最適な改築シナリオの事業費等を考慮して、5～7年の対策範囲を設定する。

(4) (実施計画) 長寿命化対策検討対象設備の選定

管理方法(状態監視保全、時間計画保全、事後保全)を踏まえた、長寿命化対策検討対象設備を選定する。

(5) (実施計画) 改築方法の検討

対策が必要とされた長寿命化対策検討対象設備は、必要に応じてライフサイクルコストの比較を行い、更新あるいは長寿命化対策を選定する。

また、個々の設備の対策に加え、必要に応じ設備群として(省エネルギー、省資源化、効率化等)総合的な検討を行う。

(6) (実施計画) 実施時期と概算費用の検討

(3)を踏まえた修繕・改築計画を策定する。

(7) (実施計画) 修繕・改築計画のとりまとめ

(1)～(6)の検討結果を修繕・改築計画として取りまとめる。

7 報告書の作成

報告書作成では、マンホールポンプ場施設ストックマネジメント実施方針に係るとりまとめ及びその概要書を作成するものとし、施設情報収集整理の内容、リスク評価の概要、施設管理の目標設定、長期的改築事業シナリオ設定の概要、点検・調査計画の概要、その他必要資料等を集成するものとする。

3章 成果品

(1) 提出すべき成果品とその部数は次のとおりとする。なお、製本はすべて白焼とする。

図書名	形状寸法・提出部数
(イ) 報告書(管路施設編・マンホールポンプ場施設編)	A4・各2部
(ロ) 打合せ議事録	A4・2部
(ハ) その他参考資料	原稿 一式
(二) 上記図書の電子成果品	CD-R又はDVD-R 一式

(2) 成果品の作成にあたっては、その編集方法についてあらかじめ小諸市と協議する。

(3) 製本はすべて表紙、背表紙ともタイトルをつけ、直接印刷したものとする。

4章 管理技術者、照査技術者および管路担当技術者

受注者は、管理技術者、照査技術者及び管路担当技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。ただし、管理技術者、照査技術者、管路担当技術者は、互いに兼務できないものとする。各技術者の配置について以下に示す。

(1) 管理技術者は、小諸市の処理区域人口^{※)}以上を有する地方公共団体において、管路施設およびポンプ場施設のストックマネジメント修繕・改築計画策定に関する管理技術者を務めた経験を有するものとする。また、技術士(総合技術監理部門(下水道)及び技術士(上下水道部門(下水道))の資格を有するものとする。

(2) 照査技術者は、本業務で作成する下水道ストックマネジメント計画が適正かつ妥当なものであるか俯瞰的に照査するために、技術士(総合技術監理部門(下水道)及び上下水道部門(下水道))の資格を有するものとし、業務の全般にわたり照査を行わなければならない。また、小諸市の処理区域人口^{※)}以上を有する地方公共団体において、管路施設およびポンプ場施設のストックマネジメント修繕・改築計画策定の業務経験を有するものとする。

(3) 管路担当技術者は、小諸市の処理区域人口[※]以上を有する地方公共団体において、管路施設およびポンプ場施設のストックマネジメント修繕・改築計画策定の業務経験を有する者を配置する。また、技術士（上下水道部門（下水道））及び「下水道管路管理総合技士」の資格を有するものとする。

上記技術者の資格要件について、証明できる書類を提出すること。なお、業務経験を証明できる書類については、業務実績書（テクリス）等を提出すること。また、処理区域人口要件は、「令和4年度版下水道統計（公益社団法人日本下水道協会発行）」に記載の数値（複数の事業を実施する地方公共団体においては、その合計値）により確認するものとする。

※）28,015人（「令和4年度版下水道統計（公益社団法人日本下水道協会発行）」より。（公共及び特環の合計値）

5章 委託対象施設（管路施設編）

~~(イ) ストックマネジメント実施方針策定業務~~

対象施設表

管路施設	対象の有無等	備考
対象区域面積	汚水：1,313 ha	処理区域面積
管きよ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
マンホール	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
マンホールふた	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
取付管	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
ます	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	

(ロ) (イ) のうち、修繕・改築計画

対象施設表（修繕・改築計画）

管路施設	対象の有無等
対象区域面積	1,313ha
延長	汚水 6.9 km
マンホール	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
マンホールふた	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
取付管	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
ます	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

設計条件項目表（参考）による。

設計条件項目表（参考）

作業項目		設計条件
施設情報の 収集・整理	施設情報収集・整理	有・ <input type="checkbox"/> 無
	施設情報の電子データ化	有・ <input type="checkbox"/> 無
	現地踏査	有・ <input type="checkbox"/> 無
リスクの評価	リスクの特定	有・ <input type="checkbox"/> 無
	被害規模の検討	有・ <input type="checkbox"/> 無
	発生確率の検討	有・ <input type="checkbox"/> 無
	リスクの評価	有・ <input type="checkbox"/> 無
施設管理の目標設定		有・ <input type="checkbox"/> 無
長期的な改築 事業のシナリオ 設定	管理方法の選定	有・ <input type="checkbox"/> 無
	改築条件の設定	有・ <input type="checkbox"/> 無
	最適な改築シナリオの選定	有・ <input type="checkbox"/> 無
	長期的な改築事業のシナリオ設定の とりまとめ	有・ <input type="checkbox"/> 無
点検・調査 計画の策定	環境区分の設定	有・ <input type="checkbox"/> 無
	点検・調査頻度の検討	有・ <input type="checkbox"/> 無
	優先順位の検討	有・ <input type="checkbox"/> 無
	点検・調査における単位・項目の検討	有・ <input type="checkbox"/> 無
	点検・調査対象施設・実施時期の設定	有・ <input type="checkbox"/> 無
	点検・調査方法の検討	有・ <input type="checkbox"/> 無
	概算費用の算定	有・ <input type="checkbox"/> 無
	点検・調査計画のとりまとめ	有・ <input type="checkbox"/> 無
点検・調査の実施		有・ <input type="checkbox"/> 無
修繕・改築計画の策定		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
関係機関への説明資料作成		有・ <input type="checkbox"/> 無
報告書作成		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
設計協議		中間打合せ 3 回
関係機関協議		0 回
貸与資料	点検・調査データ	<input checked="" type="checkbox"/> 有（貸与形式：紙・ <input checked="" type="checkbox"/> 電子データ）、無
	管路施設データ	<input checked="" type="checkbox"/> 有（貸与形式：紙・ <input checked="" type="checkbox"/> 電子データ）、無
	維持管理データ	<input checked="" type="checkbox"/> 有（貸与形式：紙・ <input checked="" type="checkbox"/> 電子データ）、無

設計条件項目表(その2) (参考)

項目		対象施設		備考
点検・調査の実施		管きよ	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
		マンホール	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
		マンホールふた	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
		取付管	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
		ます	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
診断	異常の程度の評価	管きよ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
		マンホール	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
		マンホールふた	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
		取付管	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
診断	緊急度・健全度の判定	管きよ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
		マンホール	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
		マンホールふた	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
		取付管	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
対策の必要性検討		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
修繕・改築の優先順位の検討		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
対策範囲の検討		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
長寿命化対策検討対象施設の選定		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
改築方法の検討	改築方法の選定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
	ライフサイクルコスト改善額の算定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
実施時期の設定及び概算費用の算出	事業量の算出と実施時期の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
	計画期間内の概算費用の算出	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
修繕・改築計画のとりまとめ		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		

6章 委託対象施設（マンホールポンプ場施設）

~~（イ）ストックマネジメント実施方針策定業務~~

~~○マンホールポンプ場 82 箇所~~

~~・対象工種：機械、電気（土木は管路施設の一部として検討を行うため対象外）~~

（ロ）（イ）のうち、修繕・改築計画

○マンホールポンプ場 13 箇所

・対象工種：機械、電気（土木は管路施設の一部として検討を行うため対象外）

設計条件項目表（参考）による。

設計条件項目表（参考）

作業項目		設計条件
施設情報の 収集・整理	施設情報収集・整理	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	施設情報の作成	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	施設情報のデータベース構築	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	現地踏査	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
リスクの評価	リスクの特定	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	被害規模の検討	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	発生確率の検討	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	リスクの評価	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
施設管理の目標設定		有 ・ <input type="checkbox"/> 無
長期的な改築 事業のシナリオ 設定	管理方法の選定	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	改築条件の設定	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	最適な改築シナリオの選定	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	長期的な改築事業のシナリオ設定の とりまとめ	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
点検・調査 計画の策定	頻度・項目の設定	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	単位の設定	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	優先順位の設定	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	対象施設・実施時期の検討	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	点検・調査の方法の検討	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	概算費用の算定	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	点検・調査計画のとりまとめ	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
点検・調査の実施		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
修繕・改築計画の策定		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
関係機関への説明資料作成		有 ・ <input type="checkbox"/> 無
報告書作成		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
設計協議		中間打合せ 3 回
関係機関協議		0 回

設計条件項目表(その2) (参考)

項目		対象施設	備考
点検・調査の実施		<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
基本方針	診断・対策の必要性検討	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
	優先順位の検討	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
実施計画	対策範囲の検討	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
	長寿命化対策検討対象施設の選定	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
	改築方法の検討	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
	実施時期と概算費用の検討	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
	修繕・改築計画のとりまとめ	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	